



MEDIA RELEASE • COMMUNIQUE AUX MEDIA • MEDIENMITTEILUNG

2007年1月19日

報道関係各位

2007年1月18日バーゼル発、ノバルティス（スイス）が発表しましたリリース（英語版）の日本語訳（抜粋）をご参考までにお届けします。

ノバルティス2006年業績：更なるヘルスケア事業への集約により高成長を維持、過去最高の売上を達成

- 2006年、グループ全体の業績はダイナミックに成長：
 - 売上高は前年比15%増（現地通貨ベース14%増）の370億米ドル（4兆2,943億円）に
 - 買収費用と新薬発売の投資コストを補って余りある生産性の向上により、営業利益は前年比18%拡大
 - 当期純利益は前年比17%増加し、72億米ドル（8,354億円）に
 - 5年連続で利益が2桁成長を達成する中で、1株当たり当期純利益（EPS）は16%増の3.06米ドル、
- カイロン社買収費用を除くと、グループの営業利益は28%、当期純利益は25%増加
- 株主総会に提案する配当金は、前年比17%増の1株当たり1.35スイスフランで、10年連続の増配達成
- 最近行った企業買収と予定されている医療用栄養食品事業の売却により、ポートフォリオはさらにヘルスケア事業に集中
- 2007年から2008年にかけて多数の新製品発売を予定：ExforgeとTekturna／Rasilez（高血圧治療薬）、Galvus（糖尿病治療薬）、Lucentis（加齢黄斑変性治療薬）

主要数値

	2006年		2005年		前年比(%)		
	百万 米ドル	億円	売上高 比(%)	百万 米ドル	売上高 比(%)	米ドル ベース	現地通貨 ベース
売上高	37,020	42,943		32,212		15	14
営業利益	8,174	9,481	22.1	6,905	21.4	18	
当期純利益	7,202	8,354	19.5	6,141	19.1	17	
1株当たり当期純利益 (ADS)ベース	米ドル	円		米ドル		16	
	3.06	355		2.63			

- 日本円は、便宜上1米ドル＝116円(2006年のおよその期中平均レート)で換算したものです。
- ADS=American Depositary Shares(米国預託株式)

ノバルティス会長兼最高経営責任者のダニエル・バセラ (Dr. Daniel Vasella) は、2006年の業績について次のようにコメントしています。「2006年の好業績は、イノベーションにコミットし、経営資源のヘルスケア事業への集約をさらに進めた戦略が成功した結果です。すべての事業部門、特に医薬品事業が好調でした。ワクチンおよび診断薬の新規事業部門は、さらにダイナミックな成長が期待されます。2007年から2008年にかけて、いくつかの革新的新薬の上市が予定されています。また業績を維持するため、研究開発に引き続き積極的に投資していきます。2007年も売上、利益とも、更なる記録を達成できると確信しています」

売上高

	2006年		2005年	前年比 (%)	
	百万 米ドル	億円	百万 米ドル	米ドル ベース	現地通貨 ベース
医薬品	22,576	26,188	20,262	11	11
ワクチンおよび診断薬	956	1,108			
サンド	5,959	6,912	4,694	27	25
コンシューマーヘルス継続事業	6,540	7,586	6,049	8	8
売上高 (継続事業)	36,031	41,795	31,005	16	16
コンシューマーヘルス非継続事業	989	1,147	1,207	-18	-18
売上高 合計	37,020	42,943	32,212	15	14

グループ売上高は前年度比15%増 (現地通貨ベース14%増) の370億米ドル

2006年は売上高が前年比15%伸長するダイナミックな業績となりました。全事業部門の大幅な事業拡大、ならびに最近の買収が増収に貢献しました。売上げがグループ全体の増収に6ポイント、買収効果が7ポイント貢献し、また薬価変動と為替が各々プラス1ポイントの増加要因となりました。

医薬品売上高は前年度比11%増 (現地通貨ベース11%増) の226億米ドル

医薬品事業部門では6年連続で市場シェアを拡大し、前年比11%の増収で2桁成長を達成しました。循環器およびオンコロジー領域ではダイナミックな増収が見られ、「ディオバン」の売上高が40億米ドル (現地通貨ベースで前年比15%の増収) を、又「グリベック」の売上高が25億米ドル (同17%の増収) をそれぞれ突破しました。さらに、「ゾレア」、「Exjade」、および「Prexige」を中心とする新製品の発売も増収に寄与しました。米国での売上高は、同市場の成長率を上回る17%の増収を達成しました。

ワクチンおよび診断薬事業の売上高は9億5,600万米ドル

インフルエンザ用ワクチン事業の急拡大が業績を牽引しました。2006年4月のカイロン社買収に伴い新設された当事業部門の2006年度の8ヶ月間の売上高は、2005年のカイロン社時代の同期間の売上高に対し42%増加しました。献血検査用を中心とする診断製品の販売は、引続き好成長を遂げました。

サンドの売上高は前年比27% (現地通貨ベース25%) 伸長し、60億米ドルに

欧州を中心として急激な成長を遂げているジェネリック医薬品市場でのポジショニング強化が功を奏するとともに、製剤化が難しい製品を中心とした新製品の発売が成功し、売上は27%伸長。ヘキササルおよびイオン・ラブスの買収も、増収に寄与しました。

コンシューマーヘルス継続事業の売上高は前年比8%（現地通貨ベース8%）増加し、65億米ドルに

戦略ブランドへの集中により世界ランキングが向上したOTC（一般用医薬品）およびアニマルヘルス事業での2桁成長が売上高伸長を牽引しました。

コンシューマーヘルス非継続事業の売上高は9億8,900万米ドル

コンシューマーヘルス非継続事業の業績には、ネスレに売却することになった医療用栄養食品事業の売上高、並びに2006年2月の売却前のニュートリション&サンテ事業の売上高が反映されています。

2006年営業利益

	2006年			2005年		前年比 %
	百万 米ドル	億円	売上高 比(%)	百万 米ドル	売上高 比(%)	
医薬品	6,703	7,775	29.7	6,014	29.7	11
ワクチンおよび診断薬	-26	-30				
サンド	736	853	12.4	342	7.3	115
コンシューマーヘルス継続事業	1,068	1,238	16.3	952	15.7	12
法人収益/費用（純額）	-532	-617		-506		
営業利益（継続事業）	7,949	9,220	22.1	6,802	21.9	17
コンシューマーヘルス非継続事業	225	261	22.8	103	8.5	118
営業利益 合計	8,174	9,481	22.1	6,905	21.4	18

グループの営業利益は前年比18%増加し、82億米ドルに

売上高営業利益は売上高を上回るペースで拡大し、売上高営業利益率が0.7ポイント上昇して、22.1%となりました。これは、医薬品、サンド、並びにコンシューマーヘルス事業（継続事業）が拡大していることによるもので、6億4,200万米ドルのカイロン社買収費用を相殺する以上の効果をあげました。買収費用を除外した場合は、営業利益は前年比28%の増加となります。

医薬品事業の営業利益は前年比11%増加し、67億米ドルに

カイロン社買収費用の3億900万米ドルを除いた場合の営業利益は17%拡大し、対応する売上高営業利益率も30.4%に達しました。大幅な売上高伸長と効果的なコスト管理による生産性向上が、米国を中心とした市場での複数の新製品発売に係わる投下費用を吸収、さらに2005年度に比べ低下した事業売却益の落込みを吸収した上で、増益に貢献しました。最終的な報告上の数値としては、営業利益は売上高の伸長率に概ね沿った伸びを示しています。

ワクチンおよび診断薬事業は2,600万米ドルの営業損失

新しい事業部門の営業利益は、米国でのインフルエンザ用ワクチンの劇的な売上拡大もあり、3億700万米ドルを計上しました。しかし、この好業績を上回る総額3億3,300万米ドルに上る買収関連費用が発生した結果、2,600万米ドルの営業損失となりました。

サンドの営業利益は前年比115%増加し、7億3,600万米ドルに

サンドの営業利益は倍増以上の結果となりました。この増益の要因は、新製品発売、主要市場でのポジショニングの強化、並びにヘキサールおよびイオン・ラブスの買収による貢献

です。ジェネリック医薬品部門および抗感染症薬部門の両分野で、業務改善も達成しました。尚、前年度業績には買収関連費用の計上もありました。

コンシューマーヘルス継続事業の営業利益は前年比12%増加し、11億米ドルに

OTC とアニマルヘルスの両部門における売上数量拡大による好業績が、コンシューマーヘルス継続事業の業績向上に貢献しました。ただし、チバビジョンは、一部の製品に供給上の問題があり、業績は振るいませんでした。

コンシューマーヘルス非継続事業の営業利益は2億2,500万米ドル

コンシューマーヘルス非継続事業の営業利益 2 億 2,500 万米ドルについては、2006 年 2 月のニュートリション&サント事業売却による一時的利益 1 億 2,900 万米ドルが貢献しています。

免責条項

本リリースには、現時点における将来の予想と期待が含まれています。従って、その内容に関して、また、将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる場合があることをご了解下さい。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照ください。

ノバルティスについて

ノバルティスは、ヘルスケアにおける世界的リーダーです。ノバルティス グループ全体の2006年の売上高は370億米ドル（約4兆2,943億円）で、当期純利益は72億米ドル（約8,354億円）、研究開発費は54億米ドル（約6,205億円）でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約101,000人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください。 www.novartis.com

参考資料：2006年（1～12月）医療用医薬品の売上上位20製品（無監査）

製品名	適応症	米国			米国以外			合計			
		百万米ドル	億円	前年同期比	百万米ドル	億円	前年同期比	百万米ドル	億円	前年同期比	
				現地通貨 ベース(%)			現地通貨 ベース(%)			米ドル ベース	現地通貨 ベース(%)
ディオバン/コディオバン	高血圧症	1,858	2,155	20	2,365	2,743	12	4,223	4,898	15	15
グリベック	慢性骨髄性白血病	630	730	20	1,924	2,231	16	2,554	2,962	18	17
ロトレル	高血圧症	1,352	1,568	26				1,352	1,568	26	26
ゾメタ	悪性腫瘍による骨転移	696	807	- 1	587	680	12	1,283	1,488	5	4
ラミシール（グループ）	真菌症	574	665	7	404	468	- 31	978	1,134	- 14	- 13
ネオーラル/サンディミュン	移植	125	145	- 17	793	919	- 1	918	1,064	- 4	- 4
サンドスタチン（グループ）	先端巨大症	367	425	- 2	548	635	4	915	1,061	2	2
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	256	296	0	469	544	- 8	725	841	- 5	- 5
トリレプタール	てんかん	549	636	19	172	199	11	721	836	17	17
フェマーラ	乳がん	338	392	40	381	441	27	719	834	34	33
トップ10製品 計		6,745	7,824	15	7,643	8,865	7	14,388	16,690	10	10
ボルタレン（グループ）	炎症/疼痛	8	9	60	682	791	0	690	800	0	1
ゼルノーム/ゼルマック	過敏性腸症候群	488	566	37	73	84	20	561	650	34	34
エクセロン	アルツハイマー病	187	216	9	338	392	12	525	609	12	11
テグレートール（CR/XR錠含む）	てんかん	120	139	10	271	314	- 5	391	453	- 1	- 1
ビスダイン	加齢黄斑変性	70	81	- 62	284	329	- 6	354	410	- 27	- 27
ミアカルシック	骨粗鬆症	199	230	- 13	140	162	3	339	393	- 7	- 7
コムタン/スタレボ（グループ）	パーキンソン病	157	182	18	182	211	24	339	393	22	21
フォラジール	ぜんそく	14	16	0	317	367	- 1	331	383	0	- 1
リタリン/フォカリン（グループ）	注意力欠如障害/多動症候群	264	306	47	66	76	6	330	382	37	37
ファムビル	ウイルス感染	166	192	10	102	118	- 3	268	310	6	5
トップ20製品 計		8,418	9,764	14	10,098	11,713	5	18,516	21,478	9	9
その他製品		1,054	1,222	43	3,006	3,486	14	4,060	4,709	21	21
医薬品売上高 計		9,472	10,987	17	13,104	15,200	7	22,576	26,188	11	11